IHI GROUP
Realize your dreams

【ユーザーレポート：三ツ山病院様】

〒047-0032 北海道小樽市稲穂１丁目９－２

オゾン水内視鏡洗浄消毒機OED-1000S Plus

※三ツ山病院様
ホームページはこちら

**三ツ山病院様は、1948年より北海道小樽市で開院した療養型病床を有した病院です。
2009年にオゾン水内視鏡洗浄機ONW-10Bを導入いただき、
2020年、2021年にオゾン水内視鏡洗浄消毒機OED-1000S Plusを合計2台採用いただきました。
現在は三ツ山病院様の経営企画統括であり、以前は医療機器販売業者としてOEDシリーズの販売実績を多く持つ、岩崎様へ話を伺いました。**

左から岩崎経営企画統括、
スタッフの吉井様、中井義仁院長

オゾン水内視鏡洗浄消毒機
OED-1000S Plus：2020年、2021年設置。

三ツ山病院様外観

「環境への配慮ということ」

私はオゾン水内視鏡洗浄機ONW-10のことを発売当初より知っており、実際多くのIHI社の内視鏡消毒機を販売してきました。内視鏡消毒機は「内視鏡を確実に消毒する」という最も重要な機能に加え、地球環境にも配慮されていることが近年特に求められていると考えます。個人的に特に病院の排水に問題意識を持っていました。医療業界における排水の問題は内視鏡に用いる消毒薬のみならず、まだまだ多くあります。
元々オゾンについては殺菌力が高い一方で、自然界に存在し、紫外線等有害物質から我々を守っていることを知っていました。IHIがオゾン水を用いた内視鏡消毒機を作ったという情報が入った時に、この装置を拡販しようと思いました。

「消毒効果について」

環境に良いだけではなく、もちろん内視鏡を確実に消毒することが最も重要です。OED-1000S Plusは厚生労働省より医療機器として認可され、消毒効果を認められています。さらに2010年、当時担当していた北海道大学病院の内視鏡室に掛け合い、オゾン水内視鏡殺菌機OED-1000の臨床試験を実施しました。
またその結果を内視鏡技師会において発表してもらいました。

「今後について」

日本の消化器内視鏡業界には、日本消化器内視鏡学会、日本消化器内視鏡技師会という専門の学会があります。このような学会へ仕掛けていき発表を増やしていくことで、オゾン水内視鏡消毒機の地位をより向上していただければと思います。

お問い合わせ先　株式会社IHI物流産業システム